

## 「2024JR総連春闘勝利!!総決起集会」開催!



JR総連は2月19日、「2024JR総連春闘勝利!!総決起集会」を目黒さつきビルで開催し、会場とリモート合わせて150名を超える組合員が結集しました。

山口委員長は挨拶で、「山場に向けて、第一先行組合である鉄道5単組が要求満額獲得まで粘り強い交渉をお願いし、翌週から始まる5連協、それ以降の労連春闘に成果を波及させていこう。

経済界や政治は『賃上げムード』一色である。しかし本当に私たちの生活向上につながるのか考えなければならぬ。私たちが掲げる賃上げ要求『ベア一律12,000円』は、経営側の意思とは違い、連合や交運労協の方針を踏まえ、物価上昇、生活向上分を加味した要求である。賃金は、組合員の現実をしっかりと掴んで、組合員とともに『たたかい取るもの』、そのたたかいを支えるのは『連帯・共闘』だという原点をハッキリさせよう。

JR総連の旗のもとに結集し、組織拡大・強化を実現するためにも、この総決起集会での意思統一をもとに、JR総連各単組・労連がしっかりとタッグを組んで、2024JR総連春闘をたたかい抜こう!と訴えました。

各単組・労連代表からは、統一ベア要求12,000円満額獲得にむけた力強い決意表明がされ、鉄道5単組から5連協、そして労連春闘へと波及効果をつくり出す決意が示されました。また集会のまとめ及びアピールでは、職場からさらなる「連帯・共闘」をつくり出し、一切の組織破壊を跳ね退け、組織の強化・拡大を実現! 2024JR総連春闘勝利にむけて、8単組・地協・労連がJR総連の旗の下、たたかう意思統一をはかりました!

## 北海道地協、JR北海道労連、JR貨物労連北海道地協共催「合同春季セミナー」

2月23日、札幌市内にてJR総連北海道地協、JR北海道労連、JR貨物労連北海道地協共催の「合同春季セミナー」を開催しました。

JR総連北海道地協・中川議長から、「2024JR総連春闘を統一要求・統一闘争のもと地協・労連の仲間とともにたたかい抜く。2年が経ったロシア・ウクライナ戦争やパレスチナ・イスラエル戦争で民衆の犠牲が後を絶っていない。一切の戦争政策に反対しよう」と呼びかけました。

また、JR総連・山口執行委員長から、能登半島地震における組合員の被災状況、2024JR総連春闘（ベア要求「一律12,000円」の要求根拠、経営側の問題意識、産業間格差の問題、統一要求・統一闘争の必要性）、JRサービック労働組合をめぐる現状について提起がありました。

その後、JR北海道労組、JR貨物労組北海道地本、日本フレートライナー労働組合北海道支部、ジェイ・オール貨物北海道物流労働組合、ジェイ・オール運輸サポート労働組合、北海道クリーンシステム労働組合からの決意表明を受け、集会アピールを採択し終了しました。



## 東北地協「2024春闘学習会」

JR総連東北地協は3月4日、盛岡こぶし会館にて「2024春闘学習会」を開催しました。

佐々木議長からは、24春闘を取り巻く情勢を踏まえた上で、「統一要求・統一闘争」にこだわって、2024JR総連春闘を職場からたたかい抜こう。さらに、安全問題や組織問題について働く者の立場で声をあげ、労働組合の存在意義を示し、組織の強化・拡大を勝ち取る」と挨拶がされました。

学習会では、JR総連・熊谷書記長から、能登半島地震支援カンパの取り組み、安全問題、平和を守るたたかい、組織問題、そして2024JR総連春闘について、講演をいただきました。

その後、JR東労組・JR貨物労組から春闘の取り組み報告をおこない、東北地協は24春闘を「連帯・共闘」でたたかい抜き、組織強化・拡大を実現させよう



と意思統一をはかりました。

最後に、佐々木議長の一「団結ガンバロー」で春闘学習会を終了し、その後の懇親会では、活発に意見交換がされ懇親をさらに深めました。

## 関東地協「2024春闘学習会」

JR総連関東地協は2月21日、JR東労組東京地本会議室において、昨年に続き2回目となる「2024春闘学習会」を開催しました。

冒頭、梶田議長は「JR東労組大宮地本において、休日出勤の対応を巡る不当処分・不当転勤が発生している。現在、JR東日本会社では、多くの職場でパワハラや不当労働行為がおこなわれている。JR東労組は組合員に寄り添い共にたたかっている」と述べました。また、JR総連・山口委員長からは、2024JR総連春闘と取り巻く情勢、JR東海労新幹線関西地本やJS労結成を巡る組織問題について、講演をいただきました。

組織問題については、JR総連近畿地協第35回定期大会における混乱や津崎議長に対する誹謗中傷等もおこなわれています。

最後に、集会参加者全体で作成した、JR東労大宮地本の不当処分を受けた組合員、JR総連近畿地協に対する檄布を、JR東労組大宮地本、JR総連へそれぞれ手渡しました。



## 北陸地協「2024春闘総決起集会」

3月5日、富山県民会館にて「JR総連北陸地協2024春闘総決起集会」を開催しました。

北陸地協としての春闘総決起集会は、7年振りの開催となり、各県協から21名の仲間が結集しました。来賓にJR総連より山口委員長を迎え、春闘の情勢や組織問題等についてご挨拶を頂きました。

集会では、春闘の原則である「統一要求・統一闘争」に拘り、それぞれの職場から闘いを創り出し「ベア12,000円満額獲得」と諸要求実現に向けて、参加者全員で意思統一を図りました。

決意表明では、各県協の取り組み報告や春闘勝利にむけての決意が述べられました。また石川県協・西労金沢分会の参加者からは、①能登半島地震被災組合員の現状、②3セク会社出向について、



③クレペリン検査で不適となった乗務員の乗務復帰について等、この間のたまたかの報告を頂きました。

集会終了後は懇親会を開催し、大いに飲み語り合い各県協の仲間との親睦を深めました。

## 東海地協「2024春闘討論集会」

3月1日、名古屋市長山王クライフプラザ「れある」において、2024春闘討論集会を開催しました。当日はJR総連から山口委員長を



来賓にお招きし、28名の参加者と2024JR総連春闘の方針と情勢について意思統一を図りました。行山議長は「JR総連春闘として労働者らしく、『連帯・共闘』してたたかい抜こう！」と挨拶しました。山口委員長から、能登半島地震の緊急支援カンパの取組み報告、各単組の春闘状況、組織課題について、挨拶を受けました。

また、連帯していく闘いの報告について、JR東海労静岡岡地本から「袴田さんの早期完全無罪を勝ち取る闘い」とJR東労組大宮地本宇都宮運輸区分会から「宇都宮運輸区における懲罰的日勤と人間破壊を許さない闘い」の報告を受けました。冤罪と会社権力に抗する闘いを連帯していくことを確認しました。

討論では、JR総連の方針に基づき春闘の闘いを構築していくことや、組織拡大の取組み、JS労について、青年部の取組みなどについて発言がありました。まとめとして、寺西事務局長が、9・13見解を読み合わせ、「連帯・共闘」していくことを確認し、最後に行山議長の「団結ガンバロー！」で締めくくりました。集会後の懇親会にも多くの参加者で親睦を図ることが出来ました。

## 九州地協「2024春闘決起集会」

3月3日、JR総連九州地協は北九州市立商工貿易会館において「2024JR総連九州地協春闘決起集会」を開催しました。

平井議長は挨拶で、2023春闘で勝ち取った成果を確認し、JR総連の旗の下、「統一要求・統一闘争」で職場からのたたかきを作り出し、「連帯・共闘」を基軸に、2024JR総連春闘勝利にむけたたたかおう。

JR各社において要員不足が深刻となっている。低すぎる賃金水準が原因の一つである。要員不足は技術継承や教育にも影響する。春闘は賃金闘争のみでなく安全問題も直結する重要なたたかきである。

また安全問題や東海労で発生している組織問題についても触れ、安全最優先の職場風土づくりと、規約・規則を遵守した組織運営を行うことを確認し、九州地協として、近畿地協を支える取り組みを行うことを確認しました。

その後、来賓の熊谷書記長よりご挨拶を頂き、続いて各単組から力強い決意表明がされ、高牟禮事務局長がまとめを行い、最後に平井議長の団結ガンバローで集会を終了し、九州地協に結集する全ての単組がJR総連の旗の下闘う意思統一を図りました。



# JR貨物労連「2024春闘総決起集会」

2月28日、JR貨物労連「2024春闘総決起集会」が目黒さつきビル会議室にて開催されました。

冒頭、JR貨物労連青年部連絡会・池尻幹事長のリードでシユプレヒコールをおこない、JR貨物労連・高木委員長は「23春闘では多くの単組がベアを獲得し、諸要求の改善を勝ち取った。今24春闘でも、JR総連・JR貨物労連の『連帯・共闘』の強化を図り、すべての単組のベア満額獲得にむけてたたかおう」と挨拶しました。

続いて、JR貨物労連の各単組の代表者からの力強い決意表明がされ、集会アピールを確認。その後、辻井事務局長はまとめて「組合員の生活を守るために、ベア満額獲得が必要である。我々の力は団結の質である。共に2024JR総連春闘勝利にむけて、職場からたたかい抜こう」と訴え、最後に高木委員長の一団結ガソバロー！をおこない、JR貨物労連は職場から連帯・共闘をつくり出したたたかい抜く意思統一を図られました。



## 「能登半島地震支援カンパ」報告

# 「8,161,289円」を集約!

JR総連「能登半島地震支援カンパ」は、総額8,161,289円を集約いたしました。支援カンパへご協力いただき、大変ありがとうございました!

この支援カンパの取り組みには、各単組・労連、OB会のほか、鉄道福祉事業協会、埼玉9条連、やじんき法律事務所のみなさまにもご協力をいただきました。なお、支援カンパについては、該当する単組を通じて、被災された組合員へ直接お渡しさせていただきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「もしも」に備え「もしも」を防ぎ  
「もしも」に向き合う。

公式キャラクター ビットくん

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

たすけあいの輪をむすぶ  
**こくみん共済〈全労済〉**  
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

あなたと家族に安心届けます。保険はおかせください。

各種のお問い合わせは、**パソコン・スマホ、から可能ですので、ご利用をお待ちしております。**

JR総連・各単組賛助団体

**鉄道ファミリー** 検索

《取扱商品》

- ▲ 自動車保険・火災保険
- ▲ サークル保険
- ▲ がん保険・医療保険
- ▲ 介護保険
- ▲ JR積立年金
- ▲ すみっこ商店

〒141-0031  
東京都品川区西五反田 3-2-13 目黒さつきビル  
TEL 03-3490-3862 FAX 03-3491-7198